

バイオビジネス環境学特論Ⅱ (2単位)

担当者氏名 稲泉 博己

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

経済発展段階、社会・文化的背景に応じた高い国際性を有する主体形成・価値創造型の農業・農村支援モデル構築を目指すため、特論Ⅰに引き続き、② AKIS の機能として、地域の多様なアクターが相互に学び合う CoP (Community of Practice) が形成されていることを検証する。これらを踏まえ、③社会・経済条件が大きく異なる事例を CoP 形成過程とネットワーク構造の視点から AKIS の類型化を図る

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

持続的发展	シナジー	AKIS	CoP
社会経済条件	ネットワーク構造	農業・農村支援モデル	

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	各対象地の概要を把握する	特論Ⅰの整理と後学期の進め方	配布資料と紹介文献の熟読し、報告できるようになっておくこと。 各回、予習・復習それぞれ 1.5 時間程度。
2		北海道・十勝	
3		東北・陸前高田	
4		東北・福島	
5		北陸・奥能登	
6		関東・埼玉、神奈川他	
7		インドネシア・SRI	
8		フィリピン・有機農業	
9		カメルーン・キャッサバ加工	
10		モザンビーク・灌漑稲作	
11		南アフリカ・家庭/学校菜園	
12	農業・農村支援モデル構築	各調査地の状況を把握し、支援モデルを構想する	
13			
14		〃	
15		〃	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

(1) Jean Lave/ Etienne Wenger 'Situated Learning' (Cambridge University Press, 1991)

(2) 宮本常一『宮本常一、アフリカとアジアを歩く』(岩波現代文庫、2001 年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

(1) 宮本常一『家郷の訓』(岩波文庫、1984 年)

(2) 川田順三編著『文化としての経済』(山川出版社、2001 年))

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

小テスト 50%、レポート 50%

◆オフィスアワー

毎週火曜日午後・研究室 (18 号館 7 階)

◆その他受講上の注意事項